

科学技術コミュニケーション推進事業問題解決型科学技術コミュニケーション支援
(ネットワーク形成型)

平成 28 年度採択企画最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名 その離島にしかない魅力を醸成, 発信するための複数離島間コミュニケーション基盤の形成— ICT の利活用による低コストかつ効率的な科学・技術・相互交流コンテンツの提供—
2. 提案機関 独立行政法人国立高等専門学校機構佐世保工業高等専門学校

3. 企画の概要

離島地区は本土との交通が限定されることから科学技術に関するコミュニケーション事業がほとんどない。離島特有の自然、文化を守り、発展させていくためには、それに関わり、かつ先端の科学技術を取り入れて、困難な社会問題を解決しようとする人たちの増加が不可欠である。本企画では、テレビ会議システムとテレプレゼンスロボットなどの ICT を利活用し、時間と経費のコストを抑えた効率的な離島間の科学コミュニケーションシステムを構築する。これにより離島にしながら多種の教育コンテンツ、本土イベントに接触できるようにし、離島間の交流頻度、情報発信力の向上を目指す

4. 最終ヒアリング結果総合所見

計画は達成され、ネットワークの定着・継続・発展が期待できる。

本事業を通じて多くの出前講座等を開催し、離島と専門機関とを接続し、相互コミュニケーションを図る試みを積み重ね、ネットワーク形成が進んだことは評価できる。ICT 利用による本土内イベントへの参加も有意義であった。しかしながら、ツシマヤマネコのコンテンツ以外に農業、環境、医療、産業、観光の問題や ICT の係わり等へ視野を広げていないことはやや残念であった。ロボット、VR などコミュニケーションの技術的手段に拘るだけでなく、協力者、組織との協力体制作りにも注力してほしい。

また、離島地区からの情報発信は困難なことも多いと思われるが、3 年間の活動を今後も何らかの形で残し継続してほしい。

以上